

## INDEX

・鶏卵の需給見通し（令和5年度3月）の公表について	1-3
・令和6年度家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議を開催予定	4
・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ	
－令和5年度「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」の結果	5
・令和6年度丸粒とうもろこし関税割当申請について（農林水産省）	6
・配合飼料供給価格の動向	7
・令和5年 鶏卵流通統計調査（農林水産省）	7
・統計データ	8
・協会活動報告	9

## 鶏卵の需給見通し（令和5年度3月）の公表について

令和6年3月12日に開催された鶏卵の需給見通し検討委員会における議論を踏まえ、3月29日に鶏卵の需給見通しが公表されました。その概要は以下のとおりです。

### 1. 2023年から2024年2月における需要、供給及び価格の動向

2023年から2024年2月においては、前半と後半とで需給の状況が大きく変化しました。前半は大規模な高病原性鳥インフルエンザ(以下「HPAI」)発生により、鶏卵不足となり、生産コストの高騰と相まって鶏卵卸売価格(全農Mサイズ基準値。以下「鶏卵卸売価格」)は上昇した。後半は供給が回復に向かう一方、それ以上に需要の回復が遅れ、需給が緩み、2023年6月下旬以降、総じて鶏卵卸売価格は下落傾向にある。なお、2023年8月以降は鶏卵の小売価格が徐々に下降している。



### 2. 短期的見通し[2024年下半年期～2025年上半年期]

#### (1) 需要

家庭用消費は、今後の小売価格や購買意欲の状況によっては、令和4年のHPAI発生前の水準まで回復しない可能性がある。加工産業では、安定供給に対する懸念もあり、卵を使用した商品・メニュー開発には慎重なことから、当面、需要が十分に戻らない可能性がある。外食産業では、休止していた卵メニューも回復し、外国人旅行客数を含む来客数も増加しており、今後の動向を引き続き注視することが必要。

#### (2) 供給

2024年における国内鶏卵生産量は、採卵用ひなの出荷羽数から推計すると約240万トン～約250万トンとなり、HPAI等の影響を受けた2023年の鶏卵生産量(約230万トン～約240万トンと推計)より約4%増加する見込みであるが、需要の回復が遅れている点を踏まえ、需要に見合った生産が期待されている。



### (3) 価格

供給の回復に比して、特に加工産業向け需要の回復には時間を要すると考えられることから、需給の緩みが続き、2024年上半期に引き続き、鶏卵卸売価格が低迷する可能性もある。

## 3. 長期的な見通し[2025年下半期～2030年]

一人当り鶏卵消費量、人口の変化及び国内生産量に着目し推計すると、2030年の需要と供給は、それぞれ、約262万ト、約273万トで、供給量が約11万ト超過する見込みである。

## 4. 今後の課題

### (1) HPAI 防疫体制の強化

HPAIの大規模発生による供給不安を解消するため、防疫体制の強化や飼養衛生管理基準の遵守、HPAIの原因特定に資する調査・研究の推進が求められている。

### (2) 安定的な供給及び鶏卵卸売価格

価格の安定と安定供給のため、今後、鶏卵の需要に見合った安定的な供給、粉卵や凍結液卵の備蓄体制の強化、鶏卵不足時における生産者と加工・外食産業との連携の在り方の検討、が求められている。

### (3) 鶏卵の生産コスト高騰への対応

高水準となっている鶏卵生産コストは、鶏卵生産者の経営を圧迫し、鶏卵の安定供給に影響を及ぼすおそれがあり、今後、生産コスト軽減方法の検討、飼料確保手段の多角化、需要側も受け入れられる「適正な価格形成」に関する枠組みの構築が求められている。

### (4) 鶏卵の消費拡大

鶏卵業界が持続的に発展していくためには、鶏卵消費を拡大していく必要があり、今後、国産鶏卵に係る消費者へのPR、新商品開発等に関する取組みの継続、加工・外食産業にとって魅力的で使いやすい商品の開発・提供が求められている。

### (5) インバウンド需要の取り込みと輸出先国の拡大

インバウンド需要の開拓と海外での国産鶏卵の販売促進は、我が国の今後の人口減少に伴う鶏卵需要の低下による鶏卵需給の不安定化を一定程度緩和する。今後、来日外国人観光客への鶏卵消費促進に関する取組み、輸出支援セミナーや現地企業との販売促進等の拡充、市場調査等の強化が求められている。

### (6) 食料安全保障への対応

国産鶏卵業界の国際競争力の強化に加え、国産鶏卵の健全な発展による安定的な供給と価格の確保が期待されている。

(了)



## 鶏卵需給見通しに関する検討会委員(順不同・敬称略)

青木 郁雄	イオンテール株式会社 デイリーフーズ商品部長
市川 尚宏	三栄鶏卵株式会社 代表取締役社長
河内 友信	キューピーたまご株式会社 購買本部 購買部次長
北野 英明	日清丸紅飼料株式会社 社長付
工藤 哲平	東京鶏卵株式会社 代表取締役社長
庄司 幸男	(一社)日本卵業協会事務局長
寺本 直人	J A全農たまご株式会社 東日本営業本部 第一営業部長
信岡 誠治	元東京農業大学農学部畜産学科教授
早川 彩子	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 商品本部 デイリー部 原材料・設備サポート マーチャンダイザー
林 義隆	協同組合 日本飼料工業会参事
松本 健一郎	株式会社ゼンショーホールディングス グループMD本部 畜産部 シニアマーチャンダイザー
湯浅 琢磨	山崎製パン株式会社 購買本部 購買第一部次長
渡邊 周治	一般社団法人 日本種鶏孵卵協会顧問
米山 大介	(一社)日本養鶏協会会長
齋藤 利明	(一社)日本養鶏協会理事
彦坂 誠	(一社)日本養鶏協会副会長
坂本 修三	(一社)日本養鶏協会元副会長
畠中 五恵子	(一社)日本養鶏協会会員生産者
浅木 仁志	(一社)日本養鶏協会専務理事

【お問い合わせ】

業務第二部

Tel : 03-3297-5515



## 令和6年度家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議を開催予定

昨年に引き続き、今年も家畜防疫互助基金支援事業の中央推進会議を、以下のとおり開催予定です。

今回は、第9期の初年度ということで、事業の仕組みの一部変更が大きなテーマとなります。

### 記

#### 1. 開催日時

4月12日（金）14:00～16:00

#### 2. 開催場所

TKP東京駅カンファレンスセンター 2階2 2Bルーム  
（\*Web参加も可能）

#### 3. 参加者（予定）

- ・各道府県養鶏協会等
- ・農林水産省動物衛生課
- ・(独)農畜産業振興機構畜産生産課
- ・(一社)日本食鳥協会
- ・(一社)日本種鶏孵卵協会

#### 4. 目的

家畜防疫互助基金支援事業の円滑な実施を図るため

#### 5. 議題（予定）

- ① 令和5年度シーズンの高病原性鳥インフルエンザ発生について
- ② 第7期・第8期家畜防疫互助基金支援事業実施状況について
- ③ 第9期家畜防疫互助基金支援事業の制度改正について
- ④ 令和6年度家畜防疫互助基金支援事業の参加スケジュールについて

#### 【お問い合わせ】

業務第一部 担当：北村、藤居

Tel : 03-3297-5515 Fax : 03-3297-5519



## 鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

### 令和5年度「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」の結果



鶏卵公正取引協議会では、公正マークの普及や鶏卵の表示に関する消費者の理解促進を図るため、毎年2回「公正マーク付き たまごプレゼントキャンペーン」を実施しています。このキャンペーンは、クイズに正解すると公正取引協議会会員企業が販売している公正マーク付きたまごを毎回100名の消費者に30個プレゼントするものです。

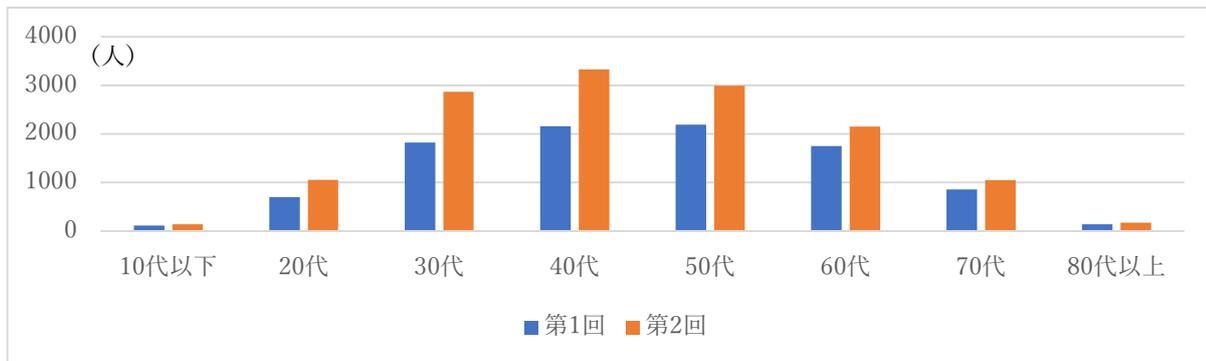
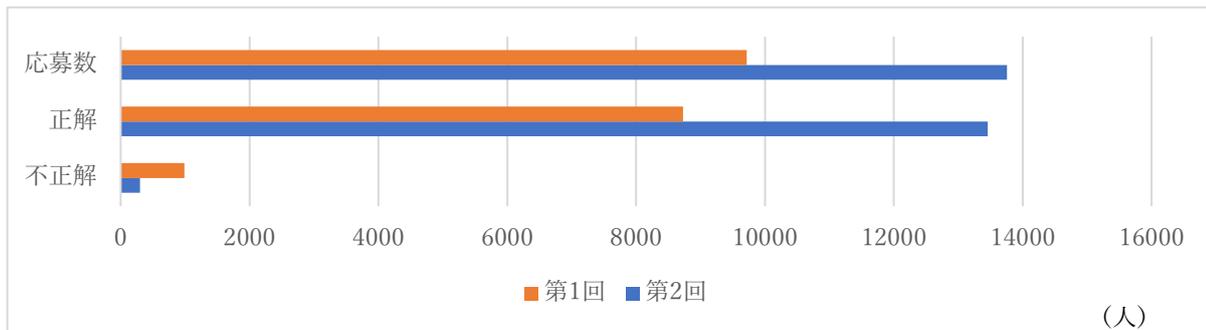
令和5年度については

**第1回 令和5年11月20日～令和5年12月19日**

**第2回 令和6年1月22日～令和6年2月20日** で実施致しました。

公正マークの普及が目的ですが、広く鶏卵への関心を高めたいという願いから少し調べれば正解が分かるもの、そして一般消費者に知ってほしい内容という観点で、第1回「赤玉と白玉、どちらが栄養豊富?」、第2回「いいたまごの日は、何月何日?」と平易な設問にしています。今年も例年同様、男女問わず幅広い年齢層からの応募をいただきました。

3月末を目途に発送作業を行いました。協力いただきました会員企業の皆様へ感謝申し上げます。



#### 【お問い合わせ】

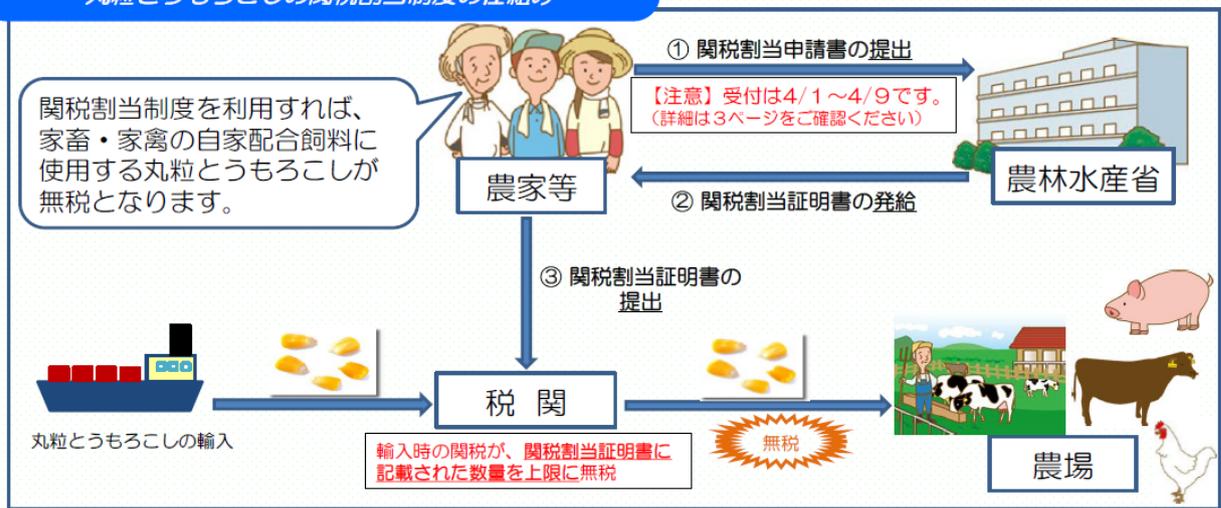
鶏卵公正取引協議会 事務局 Tel : 03-3297-5516

## 令和6年度丸粒とうもろこし関税割当申請について（農林水産省）

令和6年度単体飼料丸粒とうもろこしの関税割当申請受付は4/1～4/9となります。ご活用の皆様にあつては、お忘れなく期限内での申請をお願いいたします。

### 丸粒とうもろこしの関税割当制度について

#### 丸粒とうもろこしの関税割当制度の仕組み



#### 【参考】利用者の現況《利用者数と使用数量（令和4年度）》

乳牛・肉牛生産者  
利用者数 42者  
使用数量 約 2.5万ト



養豚生産者  
利用者数 79者  
使用数量 約18.0万ト



養鶏生産者  
利用者数 18者  
使用数量 約 1.9万ト



利用の申請をされる方の多くは、自家配合飼料を利用する畜産農家や、畜産農家に飼料を販売する販売者・組合等です。

申請書類の準備や輸入の通関手続き等は、利用者本人ではなく輸入を代行する業者等に委託することもできます。



#### 申請者の資格

- (1) 畜産経営者であつて、自家配合飼料を使用する一定の施設を有する者（注）  
又は
- (2) 飼料販売業者等  
（割当を受けた丸粒とうもろこしを、飼料として自ら使用する畜産経営者に直接販売する者）

（注）施設は、共同利用施設でも可。ただし、税関長の確認を受けている必要があります。

#### ■ 令和6年度の丸粒とうもろこしの関税割当制度について

[https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l\\_siryu/attach/pdf/index-1037.pdf](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryu/attach/pdf/index-1037.pdf)

【お問い合わせ】

農林水産省 畜産局 飼料課 流通飼料対策室 需給対策第1班

Tel : 03-3502-8111（内線 4915） 03-3591-6745（直通）



## 配合飼料供給価格の動向

令和6年4～6月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、令和6年1～3月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり4,600円値下げすることが決定されました。



なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

単位：円／平均トン（前四半期比較）

区分	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	年間
令和6年	↑2,800	▼4,600			
令和5年	▼1,000	▼2,000	▼2,000	▼2,700	▼7,700
令和4年	↑2,900	↑4,350	↑11,400	据え置き	↑18,650
令和3年	↑3,900	↑5,500	↑4,700	▼1,250	↑12,850
令和2年	↑700	▼800	▼1,000	↑1,350	↑250

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

### ■ [令和6年4～6月期の配合飼料供給価格改定について](https://www.zenoh.or.jp/press/release/2024/99650.html)

<https://www.zenoh.or.jp/press/release/2024/99650.html>

## 令和5年 鶏卵流通統計調査（農林水産省）

令和6年3月26日、農林水産省から「令和5年鶏卵流通統計調査」が公表されましたので、以下の通りご紹介します。

### ■ [令和5年鶏卵流通統計調査結果：農林水産省](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/tikusan_ryutu/keiran/r5/index.html)

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka\\_gaiyou/tikusan\\_ryutu/keiran/r5/index.html](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/tikusan_ryutu/keiran/r5/index.html)

### 【お問い合わせ】

農林水産省 大臣官房統計部 生産流通消費統計課 消費統計室 担当者：流通動向第2班  
代表：03-3502-8111（内線3710）ダイヤルイン：03-3502-5947



## 統計データ



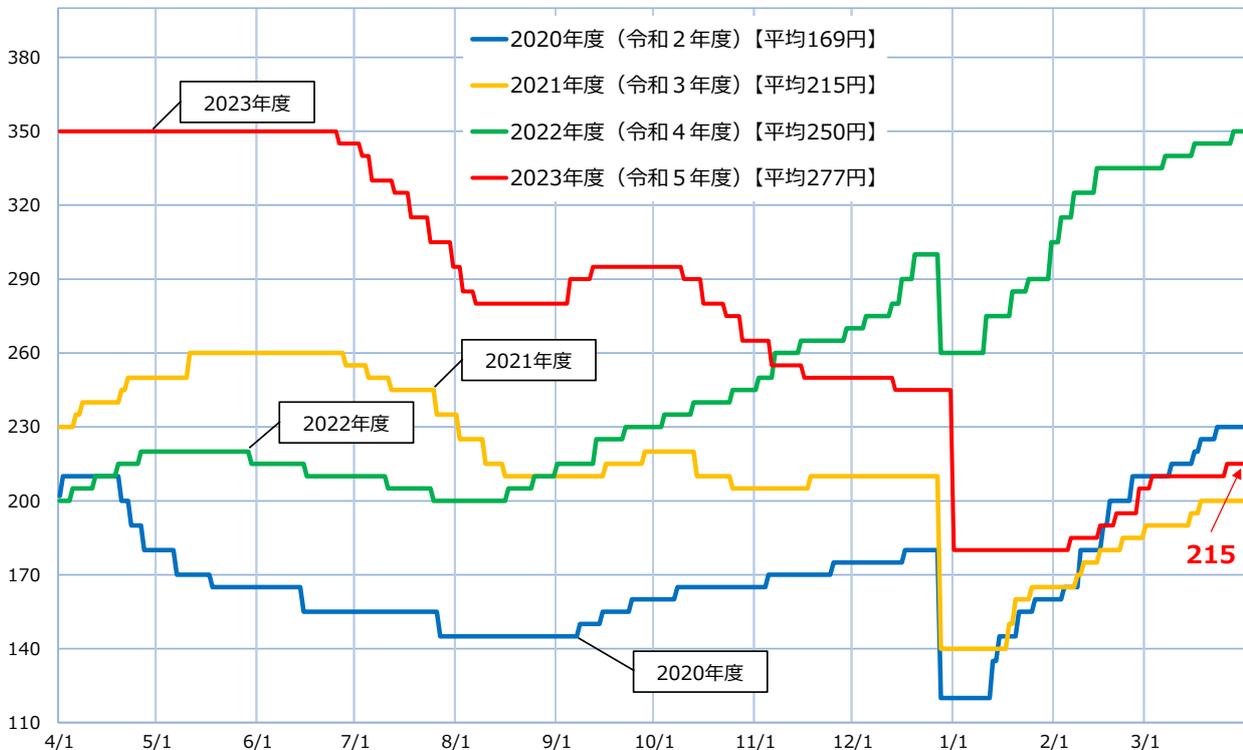
### 鶏卵相場動向 — 過去10年間の3月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成27年	219	238	209
平成28年	215	233	209
平成29年	217	238	204
平成30年	201	223	189
令和元年	169	188	159
令和2年	197	222	186
令和3年	220	250	204
令和4年	195	220	184
令和5年	343	374	329
令和6年	211	239	199
平均値	219	243	207

令和6年3月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値239円は、過去10年の平均値243円を4円下回り、安値199円は、過去10年の平均値207円を8円下回っています。



### 鶏卵相場推移 2020年度～2023年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は年始の180円から上昇が続き、215円となりました。



## 鶏卵関係主要計数 —— 令和6年1月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
5年 2月	8,289	95.6%	424	93.7%	849	94.8%	175	327
3月	9,470	102.4%	475	92.3%	828	86.3%	195	343
4月	8,715	98.6%	436	89.6%	846	92.2%	211	350
5月	9,349	100.5%	462	97.0%	833	89.0%	219	350
6月	9,641	114.1%	443	90.9%	817	94.9%	213	349
7月	9,325	103.4%	428	96.9%	813	88.8%	205	320
8月	8,694	102.5%	434	93.0%	859	97.9%	204	282
9月	8,053	102.9%	427	92.4%	849	96.2%	223	292
10月	8,801	104.7%	457	97.3%	891	93.2%	239	283
11月	8,671	98.9%	466	96.6%	876	96.2%	262	254
12月	9,584	105.6%	501	98.4%	951	100.8%	284	247
6年 1月	7,545	89.0%	456	102.3%	898	100.0%	280	180
1年間合計平均(%)	106,137	101.5%	5,409	95.0%	10,310	94.2%	226(平均)	298(平均)

- ・雛餌付羽数は、7,545 千羽（前年比 89.0%）と前年比 11.0%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、456 千トン（前年比 102.3%）と前年比 2.3%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は 898 グラム（前年比 100.0%）と前年同水準となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の 100 円安を示しました。

## 協会活動報告



### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量（単位：t）

令和 3 年度	1,840,695
令和 4 年度	1,794,699
令和 5 年度	1,731,712
令和 6 年度	1,824,301

② 標準取引価格

令和 6 年 3 月 204.49 円/kg

③ 令和 6 年度

鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格

補填基準価格 222 円/kg

安定基準価格 202 円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 16 号 馬事畜産会館内(5階)

Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2024年4月4日

編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)